

授業実践

1 単元名 武家政治の展開や民衆の成長

2 目標

- 武家政治を背景とした、中世の諸産業の発達と社会の変化、新たな文化に対する関心を高め、意欲的に追究し、文化遺産を尊重しようとする。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- 武家政治を背景とした、中世の諸産業の発達と社会の変化、新たな文化の特色を代表的な事例を取り上げて、比較や関連付け総合して考察し、その過程や結果を表現することができる。
(社会的な思考・判断・表現)
- 武家政治を背景とした、中世の諸産業の発達と社会の変化、新たな文化に関する絵画や文献などの様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、結果をまとめたり、説明したりすることができる。
(資料活用の技能)
- 武家政治を背景とした、中世の諸産業の発達と社会の変化、新たな文化の特色を、理解することができる。
(社会事象についての知識・理解)

3 単元計画

時	学習活動と内容 (㊦ 焦点化した個別事象)	指導上の留意点と評価
1	<p>1 鎌倉時代の想像図と室町時代の想像図を比べ、鎌倉時代と室町時代の共通点や相違点を見つける。</p> <p>2 学習課題を設定する。</p> <p>室町時代の産業や社会、文化は、鎌倉時代からどのように変化したのだろうか。</p> <p>室町時代の産業や社会、文化の資料をみて、自分の考えをノートに書く。</p>	<p>・農民の生活の想像図を比べるとき、農民や商人など、民衆の様子に着目するように助言する。</p> <p>㊦ 武家政治を背景とした、中世の諸産業の発達と社会の変化、新たな文化に対する関心を高め、意欲的に追究し、文化遺産を尊重しようとしている。 (関心・意欲・態度) 〈ノート〉</p>
2	<p>室町時代の産業は、鎌倉時代からどのように変化したのだろうか。</p> <p>㊦ 定期市、門前町、馬借、問丸、土倉、座、二毛作</p>	<p>・室町時代の政治の流れの年表を教室に掲示することで、武家政治を背景とした産業や社会や文化の発達に気付かせる。</p> <p>・鎌倉時代の歴史的事象を結び付けた関連図を提示し、作成の仕方が分かるようにする。</p> <p>・イラストが苦手な生徒には、人物の絵を教師が用意しておく。</p>
3	<p>室町時代の社会は、鎌倉時代からどのように変化したのだろうか。</p> <p>㊦ 惣、寄合、掟、土一揆、国一揆、一向一揆</p>	<p>・様々な職業が増えたことを資料から確認することで、自給自足の産業から、商品流通を前提とした暮らしになっていったことを伝える。</p>
4	<p>室町時代の文化は、鎌倉時代からどのように変化したのだろうか。</p> <p>㊦ 北山文化 足利義満：金閣、能、狂言 東山文化 足利義政：銀閣、書院造、水墨画 お伽草子、連歌</p>	<p>・考えが深まらない生徒には、衣食住の面から生活の変化を考えるように助言する。</p> <p>・変化の理由を自分の言葉で書けない生徒には、鎌倉時代の特色をまとめたカードを配付する。</p> <p>・一揆が全国のどこで起こったか、地図で確認する。</p>
5		<p>・鎌倉時代の「阿氏河荘上村の農民の訴え」の資料と、室町時代の「正長の土一揆の刻文」を比較して、農民の行動の違いからも社会の変化を考えさせる。</p>
6	<p>1 個人で課題追究をし、歴史的事の関連図を作成する。</p> <p>2 ㊦の事象は、必ず関連図に入れさせる。</p> <p>3 矢印や線、言葉、人物イラスト、吹き出しを用いる。</p> <p style="margin-left: 40px;">：事実を結び付ける →：時系列、順番、原因・結果 ：結び付けた理由</p> <p>4 グループで自分が作成した関連図と他の生徒が作成した関連図を比較する。</p> <p>5 関連図の説明を聞きながら、理由を明確にして、新しい事象を関連図に追記する。</p> <p>6 室町時代の特色を、産業や社会、文化の面からそれぞれまとめる。</p> <p>7 自分でまとめた特色を全体の前で発表する。</p>	<p>・教室の一角に畳を敷き、生け花を置き、希望する生徒には茶の湯体験をさせることで、なぜ現在につながっているのか考えさせる。</p> <p>・鎌倉文化は武士が中心であったが、室町文化は民衆も文化を担っていることを資料から確認する。</p> <p>・北山文化のころは幕府の権力が強く、東山文化のころは幕府の権力が弱まっていることを、当時の政治を背景として資料から考えさせる。</p> <p>㊦ 武家政治を背景とした、中世の諸産業の発達と社会の変化、新たな文化に関する絵画や文献などの様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、結果をまとめたり、説明したりしている。 (技能) 〈関連図〉</p> <p>㊦ 武家政治を背景とした、中世の諸産業の発達と社会の変化、新たな文化の特色を理解している。 (知識・理解) 〈関連図、ノート〉</p>
7 (本 時)	<p>室町時代の産業や社会、文化は、鎌倉時代からどのように変化したのだろうか。</p> <p>関連図を使って室町時代の特色をまとめよう。</p> <p>1 3枚の関連図から共通するキーワードを見だし、全体で見出した理由を話し合う。</p> <p>2 鎌倉時代の関連図と室町時代の関連図を比較し、グループで共通点や相違点について話し合う。</p> <p>3 グループで考えをまとめ、発表する。</p> <p>4 室町時代の特色を自分の言葉でノートにまとめる。</p>	<p>・鎌倉時代の関連図と、室町時代の3枚の関連図を比較し、時代の変化の様子に着目させる。</p> <p>・3枚の関連図から共通するキーワードを見だし、見出した理由を話し合わせることで、産業や社会、文化の特色を結び付けられるようにする。</p> <p>㊦ 武家政治を背景とした、中世の諸産業の発達と社会の変化、新たな文化の特色について、比較や関連付け総合して考察しようとしている。 (思考・判断・表現) 〈ノート〉</p>

本時の指導

1 目標

武家政治を背景とした、中世の諸産業の発達と社会の変化、新たな文化を総合して室町時代の特色をとらえることができる。

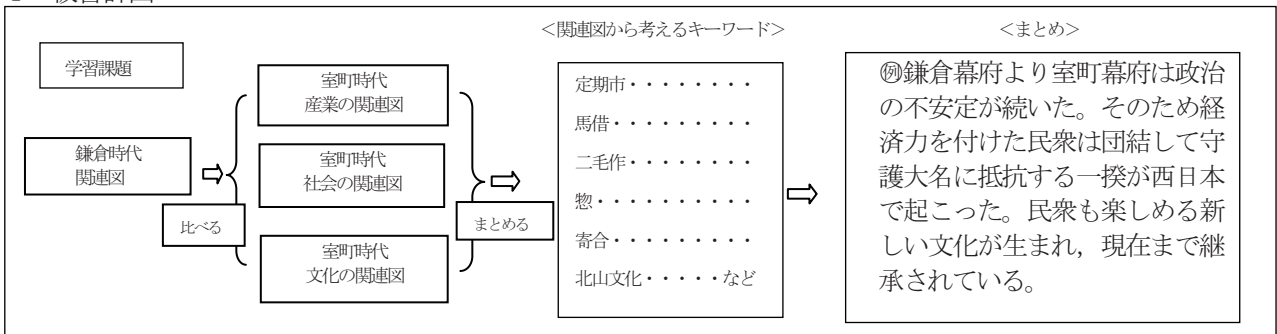
2 資料・準備

教科書、資料集、鎌倉時代と室町時代の関連図

3 展開

学習活動・内容	学習活動への働きかけ・評価
<p>1 本時の課題を確認する。</p> <p>室町時代の産業・社会・文化は、鎌倉時代からどのように変化したのだろうか。－関連図を使って室町時代の特色をまとめよう。－</p> <p>2 3枚の関連図から共通するキーワードを見だし、全体で見いだした理由を話し合う。</p> <p>⑩ 産業：定期市、馬借、土倉、座、二毛作 社会：惣、寄合、一揆 文化：北山文化、義満、金閣、能 東山文化、義政、銀閣、書院造など</p> <p>3 鎌倉時代の関連図と室町時代の関連図を比較し、室町時代の特色を総合して、グループで共通点や相違点について話し合う。</p> <p><予想される生徒の考え></p> <ul style="list-style-type: none"> 鎌倉時代の農民は支配される立場だった。しかし室町時代になると民衆は経済力、発言力をつけたので抵抗するようになってきた。 鎌倉時代と比較して生産力が向上した民衆は、文化を楽しむようになってきた。つまり生活に余裕ができたからだ。 民衆は自分たちの生活は自分たちで守る意識が芽生えてきた。そのわけは鎌倉幕府と比べて、室町幕府は力が弱いからだ。 鎌倉時代より室町時代は外国とのやり取りが多くなった。そのわけは明や朝鮮、琉球と貿易をしているからだ。そのため産業や文化の面で外国の影響を受けている。 <p>5 室町時代の特色を自分の言葉でノートにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉時代と室町時代の産業や社会、文化の関連図のそれぞれの拡大資料を黒板に掲示することで、時代の変化の様子に着目させる。 3枚の関連図から共通するキーワードを見だし、見いだした理由を話し合わせることで、産業や社会、文化の特色を結び付けられるようにする。 意見交換では、資料などの根拠をもとに話すよう助言する。 発言がうまくできない生徒には、「そのわけは・・・」「なぜかという・・・」「つまり・・・」などのつなぎ言葉を使って表現するよう助言する。 室町時代の政治的背景や外国との関係にも着目するように助言する。 生徒から出なかった事象を補足する。 室町時代の文化は現在に結び付くものがみられることを確認する。 まとめが進まない生徒には、「鎌倉時代と比較して・・・」という言葉から書き始めるように助言する。 <p>⑩武家政治を背景とした、中世の諸産業の発達と社会の変化、新たな文化の特色について、比較や関連付け総合して考察している。 (思考・判断・表現)〈ノート〉</p>

4 板書計画

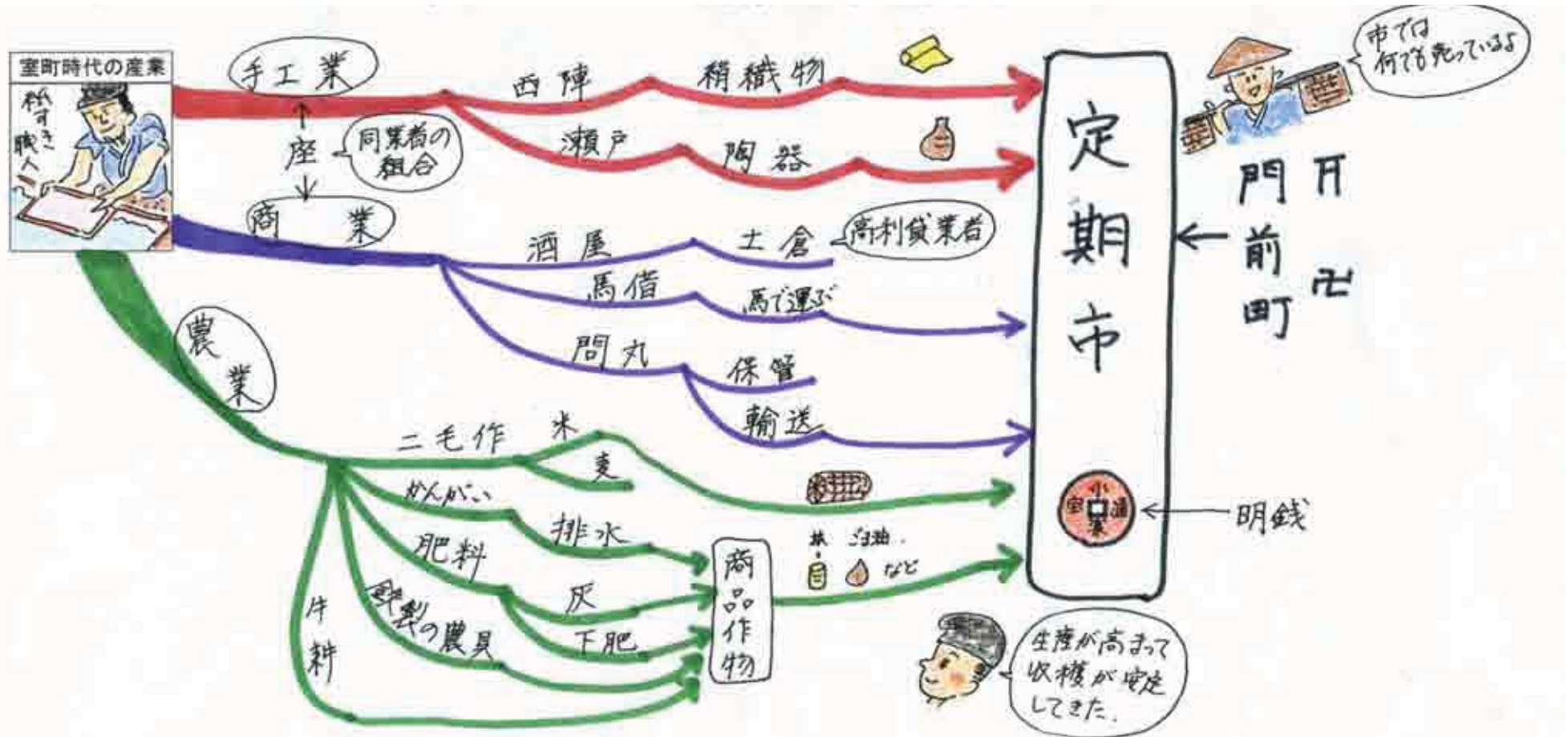


室町時代 産業の関連図

1年 組 番 名前

教科書 p 55 ~ p 60, 資料集 p 68 ~ p 69 を見ながら描いてみよう。

「定期市」「門前町」「馬借」「問丸」「土倉」「座」「二毛作」は必ず書きましょう。



室町時代の産業について、鎌倉時代からどのように変化したのか、関連図を見ながら、自分のことばでまとめましょう。

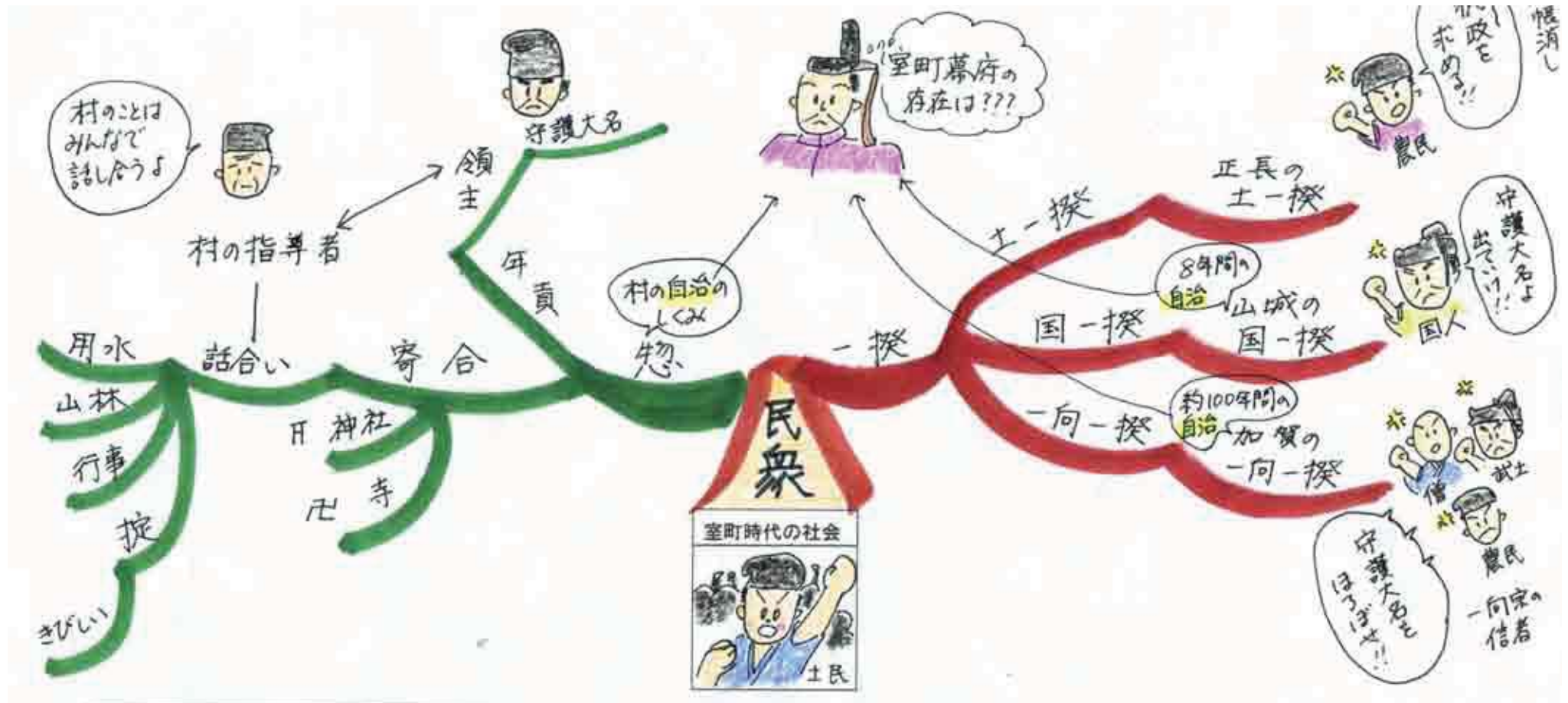
鎌倉時代より農業生産が高まったり、いろいろな職業が増えたりしてきたので、神社やお寺がある門前町には定期市が開かれた。定期市には、馬借や問丸で運ばれてきた品物が売られるようになってきた。お金は明の銅銭が使われた。

室町時代 社会の関連図

1年 組 番 名前

教科書 p 60 ~ p 61, 資料集 p 70 ~ p 71 を見ながら描いてみよう。

「惣」「寄合」「掟」「土一揆」「国一揆」「一向一揆」は必ず書きましょう。



室町時代の社会について、鎌倉時代からどのように変化したのか、関連図を見ながら、自分のことばでまとめましょう。

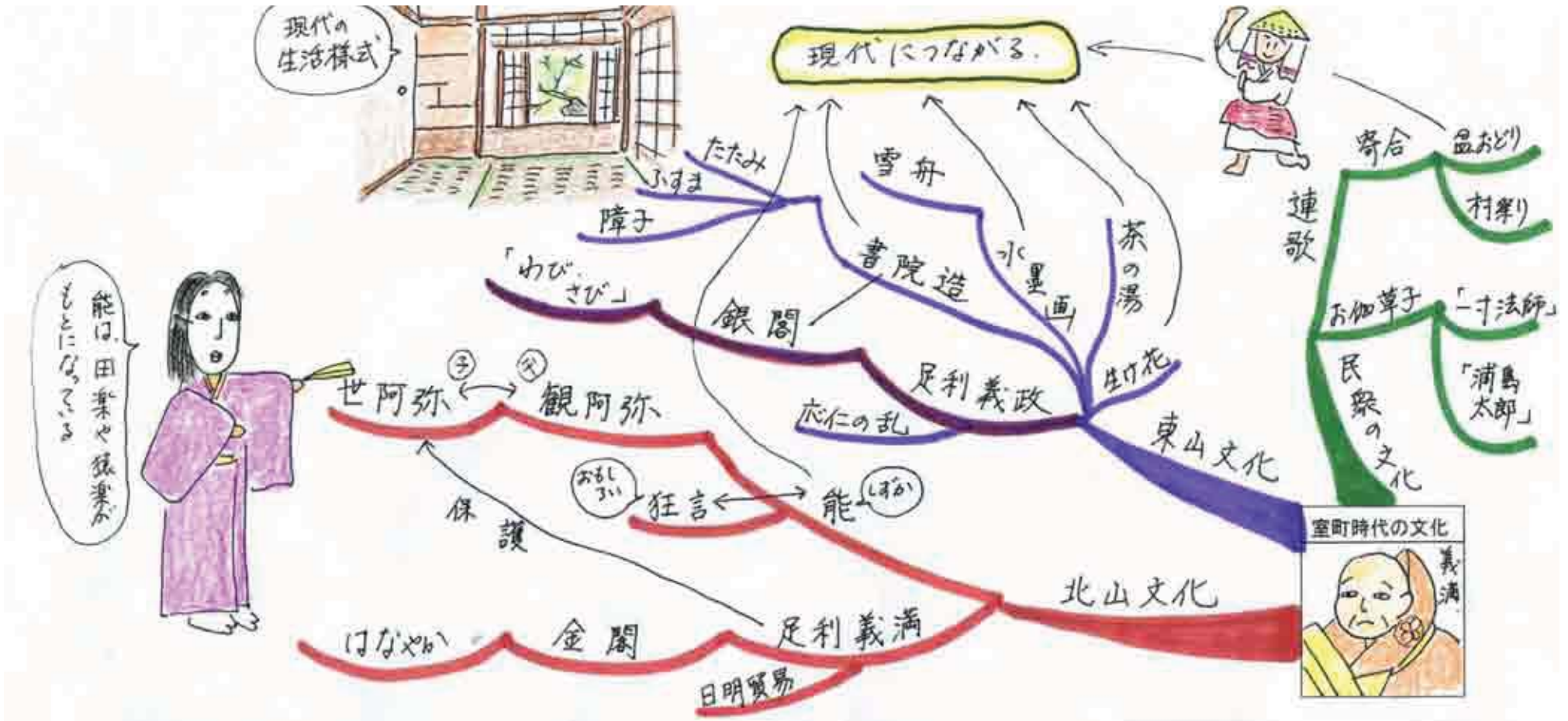
農業生産が高まって、収穫が安定してくると、農民が自立してきて、惣という自治を始めるようになってきた。村で共同で使用するものや行事、掟は寄合で話し合うようになってきた。また、土一揆や国一揆、一向一揆のように、仲間と団結し、支配していた者たちに立ち向かうようになってきた。その背景の一つに、室町幕府の弱さがある。

室町時代 文化の関連図

1年 組 番 名前

教科書 p 65, 資料集 p 72 ~ p 73 を見ながら描いてみよう。

「北山文化」「足利義満」「金閣」「能」「狂言」「東山文化」「足利義政」「銀閣」「水墨画」「書院造」「お伽草子」「連歌」は必ず書きましょう。



室町時代の文化について、鎌倉時代からどのように変化したのか、関連図を見ながら、自分のことばでまとめましょう。

足利義満の頃は、金閣に代表されるような、はなやかな北山文化が生まれた。足利義政の頃は、銀閣に代表されるような「わび・さび」の東山文化が生まれた。また、お伽草子や連歌のように民衆も楽しめる文化が広がった。室町時代の文化は、能や書院造、水墨画といった現代に伝わるものが多い。